



あしなみ会だより

足立区精神障害者家族会
事務局：足立区千住4-3-9
TEL 3881-6400



2023年
9月号

今年の夏は猛烈な暑さが続き、9月になっても収まらない残暑ですが、皆様、お変わりありませんか。この暑さをどう凌いでおられるでしょうか。そんな中でも夏の風物詩足立の花火大会が4年ぶりに実施され70万人を超える見物客で盛り上がり、暑さで辛かったけど、花火は夏の思い出になりました。秋のお祭りの準備もあちこちで始まっていて楽しみです。夏の猛暑の疲れが秋に出てくるとも言われています。コロナ対策も気が抜けません。どうかご自愛ください。

<7月 あしなみ会例会 報告>

医療機関における就労支援 精神科デイケアの取り組み

参加者は13名。東京足立病院のデイケアの精神保健福祉士、浦健太郎氏をお招きし、足立病院デイケアで取り組んでおられる「就労支援」についてお話を伺いました。

東京足立病院 デイケアでは、医師をはじめ、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、心理士、ヨガなど技術講師等、多職種がチームとなり支援を提供しています。Try（就労）デイケアでは、生活リズムを整えることから始め、就労準備支援として就労支援施設や職場見学も行っています。就労継続支援A型、B型の事業所、就労移行支援などと連携して支援を提供しています。就労中の方を対象に就労定着支援プログラムとして就労交流会も行っています。認知行動療法、WRAP（元気回復行動プラン）を取り入れ、「食」を大事に考えて取り組んでいるとのことでした。

「就労支援」と聞くと、企業への就職活動への支援が思い浮かびますが、ハローワークと連携しての支援だけでなく、その人その人に適した

就労支援を考えておられることが良くわかりました。例えば、就労移行支援事業所や、就労継続支援 B 型の利用に向けての支援、利用を継続するための支援、また、就労された後の就労交流会など、デイケアだからこその広がりを活かした取り組みをされているのだなあ、と思い、なるほどと思いました。規則正しい生活を送れるので就労の前準備になると感じておられる方や、交流の場として居心地が良いと感じておられる方もいらっしゃるということです。皆さんが安心して準備に取り組まれている様子が伝わってきました。

浦さんは、課題として「院内・院外関係者への就労デイケアへの理解」を挙げられました。関係機関にも理解が進み、連携した取り組みが展開

できていけば、「地域包括ケアシステム」が深まり広がっていくのではないかなと思いました。浦さん、ありがとうございます。（桑原）



<令和 5 年度東京つくし会上半期講演会報告>

長期入院の精神障がい者の地域移行を考える ～病院から出て地域で暮らすために何が必要か～

（6 月 23 日（金）東京つくし会評議員会に出席し、午後の講演会にも参加受講してきました。）

講師は日本社会事業大学名誉教授でいらっしゃる古屋龍太先生です。

古屋先生は、長期入院を生んだものとして、1950 年に制定された精神衛生法について、また、精神保健医療福祉の、70 年変わらないこの国の歴史についてお話をくださいました。精神衛生法は「強制入院手続き法」とも呼ばれています。入院の手続きについては細かく書かれているが、退院のことについてはほとんど触れられていない、とおっしゃいました。この法律の大きな背景として 1960 年の池田勇人内閣の「所得倍增計画」を挙げられました。『精神障がい者、知的障がい者が在宅でいるとその家族は介護のために労働者になれない』という考え方です。世の中が、

『所得倍増計画』に喜んでいた裏にこんなに大きな差別的な考えがあったことが、ひいては滝山病院の虐待事件につながってきたのだと思いました。1968年にWHOの派遣で来日調査したクラーク氏は、日本政府に、①日本の精神病床は多すぎる ②必要以上に閉鎖的、長期入院により施設症化 ③病院の劣悪な環境 ④地域社会内に小規模支援施設が必要 ⑤精神病院内スキャンダル隠蔽を防ぐ国家監査 ⑥PSW等の専門職要請が急務等を勧告しました。しかし、当時の厚生省課長は「英国は斜陽の国であり、日本がこの報告書から学ぶものは全くありません」と勧告を無視し、公文書にも記録をしなかったとのことです。1960年代というと諸外国では精神科病床を減らし地域の中で支える仕組み作りに取り組んでいたころです。日本が、今 世界 1 精神科病床の多い国となった所以です。

1984年には報徳会宇都宮病院事件が起こります。古屋先生は、2023年2月25日に放送されたETV特集「ルポ、死亡退院～精神医療・闇の実態～」を紹介してくださいました。

2009年「精神保健医療福祉の更なる改革に向けて」というタイトルで今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会の報告書が厚労省から発表されました。そこで初めて『長期入院患者の問題は入院医療中心であった我が国の精神障がい者施策の結果であり行政、精神保健医療福祉の専門職等の関係者はその**反省**に立つべき。と官僚としては異例の「**反省**」の文言が記されたとのことです。そこから、国の退院・地域移行支援策が始まります。

国立精神・神経センターでは、「社会復帰病棟」で「退院促進」の取り組みがはじまり、その取り組みにより「風通しの良い病棟」へと変化がみられるようになったとのことです。以前は「退院」という言葉がタブーですらあった病棟は「退院を目指す」ことが当たりまえのこととなり、退院の話題が日常となり、患者だけでなくスタッフも生き生きとしてきたとのことです。

古屋先生は、資料の中に「社会的入院に関する、問い」というスライドで、私たちに問いかけておられます。

- ・そのひとは、本当に喜んで入院しているのでしょうか？
- ・そのひとは、本当に入院が必要なののでしょうか？
- ・そのひとは、本当に退院したくないのでしょうか？



- ・なぜ、そのひとは、入院が必要なののでしょうか？
- ・なぜ、その人は、退院できないのでしょうか？
- ・なぜ、スタッフはあきらめているのでしょうか？
- ・なぜ、病院は、退院させないのでしょうか？
- ・「社会的入院の解消」は果たされていない
- ・今も精神科病院には長期社会的入院者が多数
- ・社会的入院者は、「地域共生社会」の蚊帳の外のまま放置



まとめとして、「にも包括」の肝は「協議の場」と先生は示されています。見知らぬ疎遠な関係機関同士の「連絡」が、顔の見える業務「連携」へ点から線への拡がりとなり、当事者・ぴあスタッフ・家族との「協働」として線から面へ相互に乗り入れ、当事者・住民と一体となったまちづくりへ。機関の壁を越えた組織・人員の統合。施策・制度立案への当事者・家族の参画となる「共創」へとつづく道のりの肝が協議の場であると示されました。

また、38年の年月を精神科病院に入院されていた伊藤時男さんを原告とする国家賠償裁判について紹介してくださいました。伊藤時男さんは都内の精神科病院で4回5年間入院し、その後、福島・双葉病院で38年間入院されていました。原発事故により、都内の病院に転院し、今はグループホームで自立生活を送っておられます。著書も出版され、NHKのハートネットTV、Eテレでも放映されています。

本研修のあった1か月後に第12回口頭弁論があるので、ぜひ傍聴に行ってくださいと案内してくださいました。（第13回口頭弁論は10月24日16:00）

伊藤時男さんの裁判の行方を見つめながら、地域で暮らすために何が必要なのか、私たちにできることは何だろう（お金のかかることからかからないことまで。事業としてだけでなく、日常生活のなかでのさりげないことも…）と考えていきたいと思いました。（桑原）

社会福祉法人あしなみにご寄附をいただき、

有難うございました。

株式会社ナカネ 中根茂樹 様

匿名 様

あしなみ有志一同 様

いつも
ありがとう



<移転プロジェクトの進捗状況 報告⑤>

令和5年度の第4回目の会議を7月12日(水)、第5回目を7月25(火)、第6回目を8月8日(火)にオンラインにて行いました。引き続きボンサンスの移転を中心に話し合いを行っています。

「足で歩く物件探し」では、綾瀬スマイル工房、アトリエほっと・しかはまの職員の方々が、暑い中、歩いて下さり、候補地になるのではという物件の情報を寄せて下さいました。その他の物件については、紹介していただいた所へお伺いする等、地域の方々からも温かいご協力を得ながら進めています。「施設コンセプトづくり」は、引き続き検討していますが、地域とのつながりを大事にした開かれた施設をイメージして作っていかれると思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(報告：岡崎)

☆今夏もそうめん・冷麦の販売活動に

ご協力ありがとうございました☆

島原手延べ素麺協同組合様のご厚意で、今夏も素麺、冷麦の販売に取り組みました。多くの方のご協力で72,060円もの利益を得ることができました。この利益は平成27年4月から廃止された、就労支援事業所 Zip, WiZ の利用者の方の通所交通費の一部に充てさせていただきます。皆様のご厚意により、利用者の方々には、交通費の心配をすることなく安心して通所していただいています。ありがとうございます。

ご協力していただいた方々から、「今年のそうめんはすごくおいしかった、いつもより早く食べ終わりました。」と嬉しいコメントをいただきました。猛暑のおかげでしょうか？



< 第 15 回全国精神保健福祉家族大会 >

「みんなねっと埼玉大会」のお知らせ

今年のみんなねっと大会は～家族まかせにしない社会に～のテーマで埼玉で開催されます。全国から集まる家族会の皆さんと交流しませんか。

日時：2023年10月14日（土）～15日（日）

会場：Rai Boc Hall（市民会館おおみや）

さいたま市大宮区大門町2-118 大宮門街4～8階

内容：全体会10月14日（土）、分科会10月15日（日）の内容と会場案内図については別紙をご覧ください。

費用：参加費3,000円 交通費はあしなみ会が負担します。

申込み：090-9961-0225（桑原）又は090-4752-4009（石川）

申込み期限：9月13日（水）までをお願いします。



<第 14 回障がい者施設地域交流展示会このまちに生きる>

上記の展示会が 8 月 22 日～25 日、区役所アトリウムにて開催されました。あしなみからの体験コーナーでは、ボンサンス・千寿の缶バッチ、くるみボタンとアトリエほっと・しかはまのクラフトバンドに協力していただきました。ご来場いただいた皆様は展示物をご覧になったり、体験コーナーに参加して嬉しそうに作品をお持ち帰りになったりしていました。今回販売はありませんでしたが、展示品を購入したいとのご意見もありました。あしなみのパネル、作品展示は少し控えめだったので今後は工夫をしてより多くの方々に見ていただけると良いと思いました。（協立作業所 河野）

8 月 22 日（火）に、「このまちに生きる」の体験コーナーに行ってきました。今回は、自主製品の“缶バッチ”と“くるみボタン”をメンバーさん 2 名と一緒に実演してきました。夏休みだったこともあり、多くのお子さんが参加してくださり、合計で 20 名位の方へ体験のお手伝いをさせていただきました。体験を目的に来て下さる方もいらっしやって、自分たちが仕事として作る雰囲気とは違い、体験者が自作の製品を熱心に作る手伝いできて、参加した全員が満足そうでした。

（ボンサンス・千寿 伊野）

- 各々の障がいを持つ方の色々な作業所の展示が見られて勉強になりました（名久井）
- 見学の方が少なかった。もう少し興味を持って頂けるとうれしいです。（広島）
- アトリエほっと・しかはまさんの体験コーナーでクラフトバンドで金魚を作ってきました。丁寧に教えて下さり、ネックレスにもできるようにしてくださいました。家に飾っております。（原）
- ☆皆でクラフト作って、すごく楽しかったです。又、機会があったら参加したいです。（S）
- ☆金魚とトンボを来場者の方と一緒に作って、難しかったけど楽しくて、時間があっという間に過ぎました。もっと地域の方と交流したいと思いました。（T）



◆◆◆ トピックス ◆◆◆

< 協立作業所 >

8月29日、恒例の納涼会を行いました。12名のメンバーさんと体験者、実習学生、職員5名でスイカを食べ、お菓子やアイスの争奪戦のターゲットボール大会を行いました。買い物や当日の司会もメンバーさんが担って下さり大いに盛り上がりしました。(河野)

○今、協立作業所は仕事が忙しいですが忙しいからこそ楽しいレクをやって気分を発散して全力で頑張りたいと思います。ガンバ!!(石鍋)

○大変楽しかったです。久しぶりにターゲットボールをやって良かったです。(小暮)

○初めてのターゲットボールでわからなかったけど皆さんでやって楽しかった。(H)

○おいしいお菓子がもらえてよかった。楽しかったです(H. T)



< 萌作業所 >

夏季休暇明けの8月17日、納涼会を開きました。冷たいかき氷を食べながらボール当てゲームと連想ゲームを楽しみました。近所のお店でおにぎりを作ってもらい、皆で昼食をいただきました。メンバー12名の参加で盛り上がり夏のひと時を過ごしました。(成澤)

○ボール当てゲーム、もっと当てたかったです。(A. I)

○ボール当ては座ってやってしまったのでかえって難しかったです。連想ゲームはいっぱい浮かんでしまってどれにするか迷ってしまいました。(K. S)

- ・ゲーム、かき氷、みんなと一緒に夏らしい気分になれたことがとてもうれしかったです。ありがとうございました。(M. K)
- ・2つのゲームでみんなの心がひとつになって盛り上がったことがとても嬉しかったです。かき氷もおいしく、夏らしい気分になりました。ありがとうございました。(E. S)



<ふれんどりい>

8月の特別講座にて歯の健康講座を行いました。お盆の最終日にも関わらず、竹の塚保健センターから3名の歯科衛生士の方が講師として来て下さり、8名の参加メンバーに向けて歯周病と虫歯に関して詳しく教えて下さいました。スライドを使った座学と、実際に歯磨きグッズを手にとって動かす練習、最後には足立区推薦のチュウリップ口腔体操を皆で行い大盛況でした。分かりやすい説明で歯の健康についての意識が高まっただけでなく、普段関り合いのあるお近くの保健センターで口腔ケ



アのやり方も教えて頂けるのだと分かり、早速、より詳しい個別の歯磨き教室に予約された方もいらっしゃいました。ふれんどりいを通じて様々行っている保健センターでの取り組みを今後もメンバーさんにお伝えしたり、他機関との連携の大切さを思えた講座となりました。

(田口)

<綾瀬スマイル工房>

7月11日(火)に、東和体育館でスポーツを楽しみました。参加者はメンバー9名、ボランティアさん1名、スタッフ3名でした。卓球やバトミントン、フライングディスク、ベイブレードのようなベーゴマ、などを行いました。コロナ禍で体を動かす機会が減ってしまったとの声を受け実現したレクになります。

(斉藤)

○久々にみんなで運動をして、子供の頃に帰った感じがしたので、楽しかった。(K)

○フリスビーを投げるのが楽しかったです。(K)

○久しぶりに体を動かして良かったです。バトミントンもベーゴマも楽しかったです。(N)

○久しぶりに体を動かしました。いい汗かいた。(M)



白露の蝶 気持ち良き 静かな風に

馬蕉

< Z i P >

上期のZ i Pセミナーについて、例年グループに分け、前年度の収支報告を行いました。今年度は、取引先にアンケートを実施し、ZiPへ依頼して良かった事、改善点、期待する事等を知ることができました。今後も同じ取り組みを続けて仕事を考える機会となれば良いと思います。(関川)

○取引先から評価されている事で、当所の信頼度や評判を知れた。(Y.M)

○売上が理解できて良かった。(S.M)



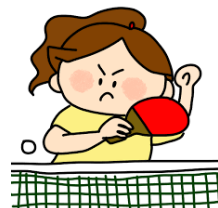
< アトリエほっと・しかはま >

8月10日(木)、所内にて遊涼み会を実施し、利用者25名、職員6名が参加しました。卓球や昔のあしなみのビデオ鑑賞、最後はビンゴ大会で盛り上がりました。スイカも食べて、夏休み前、とても楽しいひと時となりました。(遠藤)

○久しぶりに食べたスイカとラムネ、美味しかったです。夏を満喫することができました。(S)

○ビデオで懐かしいお顔が見られてよかったです。(N)

○遊涼み会とても楽しく過ごせました。主に卓球をやり、美味しいスイカ、ラムネをいただきました。お盆前のレク、参加できて良かったです。(K)



8月23日(水)、しかはまに新品の椅子10脚が納品されました。利用者が毎日使用している椅子が経年15年以上となり、古く汚れが目立っており、布製のため消毒も難しく、コロナ禍の感染症対策に不安が生じていました。今回はビニール張りのものに替えましたので消毒が容易となり、安心して作業が行える環境を提供することができるようになりました。なお、購入に際しては、東京都共同募金会様の地域配分(B配分)を充当させていただきました。大切に使用させていただきます。誠に有難うございました。(しかはま一同)



< 入・退職等のご挨拶 >

アトリエほっと・しかはま 鈴木

7月16日より常勤職員としてアトリエほっと・しかはまに勤務することになりました、鈴木と申します。1年前から綾瀬スマイル工房で勤務させていただいており、今後は2つの作業所にてお仕事をさせていただきます。あしなみ歴2年目、まだまだ不慣れなところはありますが、どうぞ皆様よろしく願いいたします。



ボンサンス・千寿 門山

8月17日より、ボンサンス・千寿に配属となりました、門山と申します。心理士として精神科のカウンセリングを約20年担当していました。その後未就学児の療育施設での就業を経て“あしなみ”と巡り合うことができました。これまでの経験をどのように活かしていけるのか現在模索中ですが、皆様とともによりよい環境づくりを心掛けていきたいと思っております。ボンサンスで働き始めて半月ほど経ち、まだまだ知らないことばかりです。スタッフやメンバーの皆様に教えてもらうことばかりですが、最近中断していた趣味のジョギングを再開し体力をつけて、一日も早く“ボンサンスの一員”になれるよう頑張ります！宜しくお願い致します!!

ZiP 大久保

この度、8月31日をもちましてあしなみを退職させて頂きました。約4年間にわたり、法人の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。他業界からあしなみに転職をし、分からないことばかりで沢山の方々に支えられながら業務を通して多くのことを学ばせて頂きました。何より、先輩職員や利用者の方々との温かいやり取りを通して、やりがいを持ち、充実した日々を過ごすことができました。皆様くれぐれもお身体にはお気を付けてお過ごし下さい。大変お世話になり、ありがとうございました。





< 9 月 あしなみ会のお知らせ >

昨年 6 月、NPO 法人クララの理事長内田聖子さんをお招きして「グループホームクララ」についてお話していただき、行き届いた支援をされていることに感動しました。

9 月の例会は、昨年お話していただいた「グループホーム クララハイツ」を見学させていただきます。お忙しい中、見学のお時間をとって下さいましたので、ご参加をお願いします。見学させていただきます、グループホームについての情報を更に深めませんか。



記

日時：令和 5 年 9 月 1 6 日（土） 午後 1 時～

内容：見学と説明 「グループホーム クララハイツ」

電話：0 3－3 8 5 7－3 0 9 3

集合場所・時間：東武線「西新井駅」改札口出た所

1 2 時 2 0 分（時間厳守お願いします）

申込み 090-4752-4009（石川）又は 090-9961-0225（桑原）

9 月 14 日（木）午後 5 時まで

※見学の際は、マスクの着用をお願いします。

